

沖縄への新たな基地建設を許さない！4.24横浜集会へ

講師 高里鈴代さん

基地・軍隊を許さない行動する女たちの会、アメリカへ米軍基地に苦しむ沖縄の声を届ける会 共同代表。元那覇市議。沖縄から基地と安保と人権を問い続ける。1月に沖縄訪米団の一員として渡米し普天間問題の解決を米国内で直接訴えた。横浜集会では、訪米報告を中心に沖縄の現状を提起していただく。



二〇一二年、沖縄は「復帰」後併合から四〇年の節目の年を迎えた。日米による軍事植民地状況からの脱却―自立解放を求める沖縄の人びとの闘いを押しとどめることはできない。米国内からも普天間移設計画の見直しの声は強まっている。本年一月下旬、沖縄は24人の訪米団を組織し、直接米国内に乗り込んだ。今こそ沖縄の闘いに応えよう！横浜集会へ多くの参加を！
(二〇一二年三月 作成)

昨年一月の記者懇談会で辺野古アセス評価書の提出時期を問われて飛び出した田中沖縄防衛局長(当時)の差別暴言に沖縄の怒りは沸騰した。野田内閣は局長を更迭して陳謝したが、その一か月後、県議会決議など広範な反対の声を無視して評価書提出を強行。あの陳謝は何だったのか。評価書に対する二月二〇日の知事意見は、辺野古移設案の実現は「事実上不可能」と断じた。振興予算のばらまき、小手先ばかりの地位協定の「運用改善」と引き換えに、「日米合意」を押し付ける。野田政権の沖縄政策は、再稼働へと突き進む原発政策同様、自公政権と何ら変わらない。最新鋭ヘリ・オスプレイ配備に向けて、東村・高江の米軍ヘリパッド建設工事も強行しようとしている。

4月24日(火) 18時半

会場 かながわ県民サポートセンター403号
(横浜駅西口5分 045-312-1121)

資料代(カンパ) 500円



「沖縄・高江の人びと」上映



静かな森に囲まれた東村高江の集落に突然浮上した米軍ヘリパッド建設計画。住民は家族ぐるみで反対運動に立ち上がった。欠陥だらけの巨大ヘリ・オスプレイの強行配備を控え、沖縄防衛局はゲート前に座込む住民に襲いかかる。高江住民の思いと暮らしを描く。藤本幸久監督2012年作品。60分。

主催：沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座(沖縄講座@横浜)
後援：基地撤去をめざす県央共闘会議/自治労横浜市従業員労働組合
連絡：Tel&Fax 045-434-3896 深沢
* 集会への賛同・協力をお願いします。団体3000円/個人1000円/口
* 郵便振替 00210-0-2021 沖縄連続講座